

令和2年度 各区 子どもの読書活動推進連絡会のまとめ

区ごとに年に一度、「区子どもの読書活動推進連絡会」を開催して、関係者間で情報交換を行っています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止(以下、「コロナ」)のため、書面形式での開催とし、各区の各施設、団体の令和元年度の活動状況や報告事項、相談事項などを事務局にて聞き取り集約し、図書館からの報告と併せてご報告して、連絡会に代えさせていただきます。本まとめでは、いただいた意見等の中から、多くの区で話題になり関心が高かったこと、今後の子ども読書活動の推進に参考になるとと思われる事例やアイデアをご紹介します。

1. 連絡会への参加を要請している機関・団体等

【読書活動支援ボランティア】各ボランティアグループの代表者(推薦された者)

【地域を拠点として活動する組織、グループ、地域活動の担い手など】(地域の実情に応じて要請)

ボランティア・市民活動センター(旧ボランティアビューロー)、生涯学習推進員、民生委員・児童委員、児童いきいき放課後事業地域指導員、学校元気アップ地域本部地域コーディネーター、はぐくみネットコーディネーター、子育てサークル、子育て支援サークル、まちライブラリー、こども文庫など

【子育て支援施設】子ども・子育てプラザ、つどいの広場、子育て支援センターなど

【就学前施設】公・私立幼稚園、保育所、認定こども園など

【学校】教育研究会 各区学校図書館部担当理事・教育メディア部担当理事(管理職)、司書教諭、学校図書館主任など(代表出席)

【区役所】教育担当、子育て支援担当、保健福祉担当、生涯学習担当など

【事務局(各区市立図書館)】館長または担当係長、司書職員、学校図書館補助員コーディネーター

2. 活動の状況

(1) 読み聞かせ等、読書推進の現場で(主にボランティアの報告・意見)

- ・ブックスタートに両親揃っての参加が多く、特に父親が熱心に聞かれており、男性の育児への意識が高くなっているのを感じる。
- ・ブックスタートは、子育てをスタートしたばかりの保護者に「絵本っていいじゃない」「わたしも読んでもらった本だわ」など感じてもらえる事業でもあると思うので大事にしていきたい。
- ・「コロナ」のために3月以降のおたのしみ会等を中止とした。
- ・6月現在、「コロナ」の影響により活動自体はお休みしているが、マスク着用、ソーシャルディスタンスをとった上で、メンバーと朗読練習をしたいと考えている。
- ・おはなし会のプログラムにわらべうたを入れている。わらべうたは、親子のコミュニケーションに役立つとともに伝承文化を知ることができると思う。

(2) 子育て支援施設等の現場で(主に施設職員の報告・意見)

- ・ ウイルスの残留期間は 24 時間と言われているので、絵本を貸出して戻ってきた絵本は1日置く、小型紫外線照射(UVC)で紫外線をあてるといった対策を行っている。
- ・ ブックスタートでは、赤ちゃんの初めての絵本との出会いが、より良いものになるよう努め、これから始まる親子の読書活動の第一歩を担うという意識で実施している。
- ・ 児童放課後等デイサービスで、ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施した。
- ・ 「障がい児を持つ親の会」の定例会で、子どもたちと一緒に絵本を読んだり折り紙などを行っている。
- ・ 地域の「こども食堂」で、学生ボランティアによる学習支援や読み聞かせを実施した。
- ・ 異文化に触れることを目的として、英語・中国語・韓国語などでの「読み聞かせ」を定期的に開催した。言葉の違いを越えて、参加者の親子に興味深く聞き入っていただけたようだ。
- ・ 毎日各クラスで 1 人が絵本を選び、保育士と 1 対 1 の読み聞かせの時間を設定し「わたしとあなたの大切な時間を作ろう！」という目的で、1 年間取り組んだ。
- ・ 日々の保育の中で、たくさんのおはなしに親しめるように、子どもたちの興味、関心、遊びの流れに合わせて絵本を選び、読み聞かせを行っている。
- ・ 携帯やスマートフォンで動画を見る子どもが増えたように思う。
- ・ 職員による「絵本プロジェクト」というグループを作り、保育所での絵本に関連した活動を行った。
- ・ 公式 LINE のタイムラインで絵本の紹介をしている。

(3) 学校における読書推進、学校図書館の活用推進について

① 学校図書館補助員について(主に教員の報告・意見)

- ・ 朝学習の時間を使って学校図書館補助員による絵本読み聞かせを行っている。
- ・ 日々、読書環境を整えてもらっている。学校図書館補助員が図書館にいて利用が増加していると感じている。
- ・ 学校図書館補助員出勤日には全学年の時間割に図書時間を割り当て、読書活動を行った。
- ・ 学校図書館補助員による読み聞かせやアニメーションを行った。
アニメーション:スペインで生まれた子どもたちに読書の楽しさを伝える方法。計 75 の〈作戦〉がある。
- ・ おすすめ本や新着本の紹介を立体ポップで展示されている。生徒はラインナップにも満足しているようだ。

② 小学校での取り組み(教員の報告・意見)

- ・ コロナ禍の下で、どこまで読書活動が進められるか未定のところもあるが、ガイドラインに基づき、学校図書館の貸出機能は維持しながら、密を避け、時間差での利用を行っている。
- ・ 低学年用の 4 人機と高学年用の 8 人機(向かい合わせ)を使用していたが、「コロナ」対策として、机とイスのセットを一人ずつバラバラに離し、同じ方向に向いて座れるよう距離をとって配置。図書館の使用前には、せっけんでの手洗いを徹底している。
- ・ 朝の読書を行っており、1 年生は図書委員会の児童が絵本の読み聞かせをしている。
- ・ ブックサポートというボランティアの方にきていただき、読み語りや学校図書館での本の貸出をお願いしている。(「コロナ」の影響で活動未定)
- ・ 今年度、読書通帳を児童に配布し、読書の記録をつけるとともに、小学校 6 年間の記録を残せる

ように設備をととのえる予定。

- ・ 読書貯金手帳を作り、全学年 100 冊を目標に行った。
- ・ 学力向上の一環として、50 冊の読書ノートを一人一冊持ち、読んだ本とその感想について書き込んで活用している。卒業時に、たくさんの読んだ本の思い出とともに旅立ってくれればと思っている。
- ・ 月に一度、図書委員会の児童が、おすすめの本の紹介カードを書き、コーナーを作って本とともに展示している。
- ・ アクティブラーニング室(低学年向けの第 2 図書室)の整備・活用を行った。
- ・ 児童集会でビブリオバトルを開催した。(4・5・6 年の代表がチャンプ本を持ち寄って、全校児童に紹介)
- ・ 希望者が読書クイズや書評コント、読み聞かせなどを持ち寄って行う、ビブリオパフォーマンスを開催した。
- ・ 読書支援イベントとして、読書ビンゴ(1～4 年生)、読書スタンプラリー(5、6 年生)を行った。
- ・ 読書アドバイザーによるブックトークを行った。
- ・ オーサービジットへの参加応募を行っている。
 オーサービジット:本の作家(オーサー)が、小学校、支援学校幼稚部・小学部、幼稚園、保育所、認定こども園を訪問(ビジット)して、本の楽しさを伝える民間の事業。
- ・ One Book One OSAKA の候補本について、図書委員会で紹介ビデオを作り、校内放送を行った。
- ・ 読書週間に教職員のおすすめの本を展示し、書名とあらすじを書いたカードを図書館前に掲示した。
- ・ 11 月を読書月間とし、小中一貫校の特色を活かした取組みを行った。中学校の図書委員が選ぶおすすめの本を三角くじにし、期間中の貸出時に 1 日 1 回くじを引けるようにした。
- ・ 一般の方々も利用できる図書室(通称ブックハウス)を中心に地域と一体した読書活動を展開している。
- ・ 児童放課後いきいき活動での図書貸出をおこなっている。
- ・ 児童放課後いきいき活動で学校図書館と連携することで、図書に触れる機会が増えた。

③ 中学校での取組み(教員からの報告・意見)

- ・ 「コロナ」の影響により、消毒作業、学年別の貸出利用日を設定するなどの対策を取っている。入室制限がかかる日もあるほど盛況だ。
- ・ 「朝の読書」の取組みを行った。
- ・ お勧めの本のタイトルを葉っぱの形をしたカードに書き、木に貼っていく「読書の木」に全学年で取り組んだ。
- ・ 読んだ本のタイトルやページ数、あらすじ等を記入する「読書手帳」の取組みを行った。一年間で読んだ本のページ数によって集会で表彰されるので、それを励みに熱心に記入する姿が見られた。

(4) 区役所での取組み(区職員からの報告・意見)

- ・ 子育てサークル支援者等を対象に、外部講師を招いて、支援者研修「絵本でコミュニケーションの取り方講座」(中央区子ども・子育てプラザ、中央区子育て応援団共催)を開催した。絵本の読み聞かせのポイントや人気の絵本の紹介など、支援者自身がより絵本への興味を深め、絵本を取り入れた活動につながるヒントとなる研修を行った。
- ・ 今年度、マンション交流事業として、子育て支援室よりマンションに出向き、マンション内のコミュニティー

- 促進への支援や、子育て相談、情報提供等を行うとともに、絵本や紙芝居の読み聞かせ等も行う予定。
- ・大阪市4歳児訪問事業として、就学前までに必要な生活習慣を身につけるための健康教育を実施するとともに、事業効果を高めるために絵本を配布する予定。
 - ・「地域の強みを活かした教育力向上事業」において、区内の学校が選択できるメニューの一つとして、「絵本ひろば」の開催支援をしている。「絵本ひろば」では、子どもの自主的な読書活動を推進することを目的に、様々な絵本を面展台上に並べ、各自が自由に選んだ絵本を読み合ったり、絵本について話し合ったりできる、絵本を通じた交流の場を目指している。
 - ・包括連携協定を結ぶ相愛大学との協働プロジェクト「あいあい相愛おはなしのへや」として、大学で2か月に1回の頻度で年6回、おはなし隊(相愛大学学生)による絵本の読み聞かせを行っている。
 - ・「学校支援ボランティア人材バンク事業」として学校とボランティアのマッチングを行い、学校図書館の開館支援ボランティアが現在活動中である。
 - ・区役所の待合スペースに「今月の絵本」として絵本棚を設置した。また、ブックスタートや図書館などのチラシを設置した情報コーナーも設置し広報活動を行っている。

3 活動にあたっての悩み、改善へのヒント・アイデア

(各図書館でお伝えできる情報、アイデアは個別にお知らせしている項目もあります。)

(1) ボランティア全般について

- ・新たなボランティア参加者が増えない。現メンバーも諸事情で忙しく、打ち合わせや練習時間をとりにくい。
- ・「読み聞かせ」の研修時にボランティアの心構えを教えてほしい。
- ・おはなし会で何か一つでも興味を持って、本を読む、本で調べる知識を持つ楽しさを体験してほしい。知識を持つことによって幸せな生活がおくれるように、おはなし会を続けていきたいと思う。
- ・おたのしみ会に参加する子どもの低年齢化が進み、今までよりも参加者の年齢の幅が広がったため、読み聞かせに使う絵本の選び方が難しくなってきた。
- ・学年が上がるにつれておたのしみ会の参加者が減ってきている。どんな工夫をすればよいのか悩んでいる。
- ・本の修理の講座をしてほしい。

(2) 子育て支援施設等において

- ・「コロナ」の関係で、絵本の読み聞かせの機会がなくなっているため、保護者向けに絵本の読み聞かせ講座の開催や乳児期におすすめの絵本を紹介するなど、みんなで絵本が楽しめる工夫があればと思う。
- ・各子育て支援施設での読み聞かせ動画ネット配信ができないか。
- ・ブックスタートの周知を拡大したい。
- ・こども青少年局からの指示によりすべての図書の閲覧・貸出を5/27(水)より休止。6月現在、「職員による広場の最後の読み聞かせ」と「ブックスタート」しか実施できない状況なので、乳幼児親子や小学生に向けて読書活動支援の方法を模索しているところ。
- ・子どもと保護者の絵本の時間を、家庭内では十分確保できないことが多い。そのような家庭へのアプロー

ちに悩んでいる。

- ・絵本に興味がない保護者に、絵本を親子のコミュニケーションのツールとして使ってもらいたいが、どのように働きかけたらいいかと悩んでいる。
- ・保護者世代の読書離れを感じる。保護者に絵本のよさを伝えるのにどうしたらいいのか、日々、模索している。
- ・年齢や季節に適した絵本選び、絵本の読み聞かせの仕方など、専門的な技術を学ぶ場があればよい。
- ・低年齢児の来館がほとんどであり、日々のおそびのひろばの中で読み聞かせをし、絵本に親しみを持てるようにしていきたいので、乳児向けの新刊絵本などの情報を教えてほしい。
- ・外国籍の家庭が多く、絵本の貸出を行っているが日本語の絵本を通して、どのように子どもと関わっているのかと思っているので、今後は多言語の絵本を充実していきたい。
- ・外国にルーツを持つ子どもが増えてきたので、さまざまな国に関する絵本や日本語で出版されている絵本で多言語でも出版されている絵本を知る機会があればいい。
- ・One Book One OSAKA のチラシに興味を示される保護者が増えてきた。選ばれた絵本の活用方法を考えている。

(3) 学校において

① 小学校

- ・密にならない読み聞かせなど、「コロナ」下での学校図書館利用について悩ましい。
- ・学校図書館を利用して調べ学習をするという環境を整えたい。
- ・教室での読書環境を整える掲示物や配布の参考となるレイアウトや読書空間の作り方を知りたい。
- ・保護者から「子どもが本を読まない」と相談を受けることが多い。子どもが本を好きになる方法があれば教えて欲しい。
- ・外国にルーツを持つ児童が増えてきたので、外国語の絵本の蔵書を増やしたい。
- ・学校図書館にタブレットを設置し、電子書籍の利用ができたらいと思う。多くの児童が同時の同じ本を読むことができ、授業にも利用できると思う。

② 中学校

- ・ライトノベルズ以外の本を「読もう！」と思ってもらうためには、どうしたらいいのか。
- ・特に今年度、限られた時間で読書や本にふれる機会をどのように作ればいいのか。

(4) 区役所において

- ・連絡会で各施設の取組や活動状況等の情報共有をすることで、今後の読書に関する取り組みやイベントの参考にしていきたい。

大阪市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱

(設置)

第1条 「大阪市子ども読書活動推進計画」(平成18年3月策定、平成30年3月「第3次」計画策定)に基づき、本市のすべての子どもたちが、さまざまな機会と場所において読書の喜びを味わい、読書を通して生きる力を身につけていくことができるよう、各区で行う子どもの読書支援活動に関する連携を進め、子どもの読書活動を推進するため、「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」(以下「市推進連絡会」という)を設置する。

2 各区において学校や図書館その他の関係機関及び民間団体・グループが、それぞれの課題を理解しながら協力して取り組み、子どもの読書活動を推進するため、各区に「区子どもの読書活動推進連絡会」(以下「区の推進連絡会」という)を設置する。

(所掌事務)

第2条 「市推進連絡会」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。

- (1) 各区の「区の推進連絡会」での協議の集約、および課題解決に向けた情報共有に関すること。
- (2) 「大阪市子ども読書活動推進計画」の進行管理に関すること。
- (3) 子ども読書の日(4月23日)記念事業他関係団体等が行う読書支援活動の状況把握に関すること。
- (4) 子どもの読書支援活動を推進するための広報啓発事業に関すること。
- (5) その他、本市における子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。

2 「区の推進連絡会」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。

- (1) 地域における子どもの読書支援活動の取組み状況報告に関すること。
- (2) 施設間、団体間の情報交換や、「市推進連絡会」で協議された他の区の子どもの読書支援活動の紹介・交流に関すること。
- (3) 学校図書館活用推進事業の進捗状況の報告に関すること。
- (4) 学校における子どもの読書支援活動についての情報の共有化に関すること。
- (5) 子ども対象の読みきかせやおはなし会、子どもの読書支援活動に関する広報・啓発活動の実施に関すること。
- (6) その他、区における子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 「市推進連絡会」は、別表1に掲げる組織、団体から推薦された者及び学識経験を有する者により構成する。

2 「区の推進連絡会」は、別表2に掲げる各区内の団体等を参考に地域の実情に応じて構成する。

(座長)

第4条 「市推進連絡会」および「区推進連絡会」に、それぞれ座長を置く。

- 2 「市推進連絡会」の座長は、中央図書館副館長とする。
- 3 各「区推進連絡会」の座長は、各区の市立図書館館長または担当係長とする。
- 4 座長は会議を主宰し、会議の議事を進行する。
- 5 座長に事故があるときは、あらかじめ座長の指名する構成員がその職務を代理する。

(「区の推進連絡会」の代表者)

第5条 各「区の推進連絡会」に、「市推進連絡会」の構成員となる代表者を置く。

- 2 代表者は、各「区の推進連絡会」の構成員の互選により選出する。

(事務局)

第6条 「市推進連絡会」の事務局は大阪市立図書館利用サービス担当に置く。

- 2 各「区の推進連絡会」の事務局は各区の大阪市立図書館が担う。

(会議)

第7条「市推進連絡会」および「区推進連絡会」は、各会議の座長が構成員を招集して開催する。

- 2 「市推進連絡会」の座長は、必要があると認めるときは、関係部局の職員に会議への出席を求めることができる。

(施行の細則)

第8条 この要綱の施行について必要な事項は、事務局が定める。

附則 この要綱は平成19年 7月 17日から施行する。

附則 この改正要綱は平成31年 4月 1日から施行する。

大阪市子どもの読書活動推進連絡会の構成

順不同

(別表1)市推進連絡会

- ・ 各区の「子どもの読書活動推進連絡会」代表者
- ・ 大阪市PTA協議会
- ・ 大阪市生涯学習推進員協議会
- ・ 学識経験者
- ・ 大阪市教育委員会事務局生涯学習部
- ・ 大阪市教育委員会事務局指導部
- ・ 大阪市立図書館

(別表2)区推進連絡会

種別	構成団体等(例)
読書活動支援ボランティア	各ボランティアグループの代表者(推薦された者)
地域を拠点として活動する組織、グループ、地域活動の担い手など(地域の実情に応じて)	ボランティア・市民活動センター(旧ボランティアビューロー)、生涯学習推進員、民生委員・児童委員、児童いきいき放課後事業地域指導員、学校元気アップ地域本部地域コーディネーター、はぐくみネットコーディネーター、子育てサークル、子育て支援サークル、まちライブラリー、こども文庫など
子育て支援施設	子ども・子育てプラザ、つどいの広場、子育て支援センターの職員など
就学前施設	公・私立幼稚園、保育所、認定こども園の職員など
学校(代表出席)	教育研究会 各区学校図書館部担当理事・教育メディア部担当理事(管理職) 司書教諭、学校図書館主任など
区役所	教育担当、子育て支援担当、保健福祉担当、生涯学習担当など

【事務局】

各区市立図書館	館長または担当係長、司書職員、学校図書館補助員コーディネーター
---------	---------------------------------

令和2年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会名簿(除事務局)

《参考》

(令和2年11月27日)

	お名前 (敬称略)	代表区分		所属・役職名等
1	久 隆 浩	有識者		近畿大学教授
2	村 岡 益 子	有識者		全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー
3	谷 村 利 貴	社会教育関係団体		大阪市 P T A 協議会 研修委員長
4	堀 岡 久 美 子	社会教育関係団体		大阪市 P T A 協議会 広報情報推進委員長
5	宮 川 榮 子	社会教育関係団体		大阪市生涯学習推進員協議会 会長
6	豊 嶋 睦 子	社会教育関係団体		大阪市生涯学習推進員協議会 副会長
7	岡 崎 仁 子	社会教育関係団体		大阪市生涯学習推進員協議会 副会長
8	南 埜 育 子	区の子どもの読書活動推進連絡会代表	北	キッズスマイルブック
9	北 本 美 和 子	同上	都島	都島えほんの会 ふぁいと！
10	川 村 朋 子	同上	福島	ま〜るま〜る
11	福 田 清 美	同上	此花	此花図書館絵本の会
12	釣 島 恭 子	同上	中央	絵本の会島之内
13	畑 中 一 美	同上	西	絵本の会西
14	堀 尾 公 代	同上	港	絵本の会みなと
15	渡 口 差 知 子	同上	大正	絵本の会 大正
16	野 田 祐 子	同上	天王寺	天王寺おはなし「ぼちぼち」
17	上 田 道 代	同上	浪速	なにわえほんの会
18	山 口 久 子	同上	西淀川	絵本の会西淀川ぼけっと
19	田 村 由 起 子	同上	淀川	絵本の会淀川
20	渡 邊 裕 美 子	同上	東淀川	おはなしボランティアとことこ
21	山 本 恵 理	同上	東成	絵本の会東成
22	藤 岡 照 代	同上	生野	絵本の会生野
23	水 永 智 子	同上	旭	本のとびら
24	中 山 良 子	同上	城東	城東絵本の会
25	橋 口 由 紀 子	同上	鶴見	絵本の会鶴見
26	黄 瀬 和 歌 子	同上	阿倍野	絵本の会あべの あのねのね
27	橋 本 恵 子	同上	住之江	絵本の会住之江
28	田 村 彰 子	同上	住吉	すみよしおはなしパレット
29	榎 本 敦 子	同上	東住吉	おはなしたまてばこ
30	望 月 敬 子	同上	平野	おはなしたからばこ
31	西 浦 直 子	同上	西成	西成絵本の会

令和2年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会関係職員名簿

(令和2年11月13日現在)

教育委員会事務局中央図書館

所 属	氏 名
生涯学習部部長兼中央図書館館長	三木 信夫
中央図書館副館長	宮田 英二
中央図書館総務担当課長	澁谷 剛
中央図書館利用サービス担当課長	島上 智司
中央図書館地域サービス担当課長	長谷部 絵理
中央図書館地域サービス担当課長代理	戸倉 信昭
中央図書館利用サービス担当課長代理	林 隆子
中央図書館利用サービス担当課長代理	藤井 直美
中央図書館 担当係長	窪田 聡美
〃 〃	正井 文博
〃 〃	小笠原 智香
〃 〃	野村 由紀
〃 〃	西尾 真由子
〃 〃	檜崎 佳代
〃 〃 (兼)	保原 早苗
〃 総括指導主事(兼)	宮辺 渉
〃 総括指導主事(兼)	田中 淳
北図書館長	石田 玉恵
都島図書館長	井上 有佐
福島図書館長	竹田 君代
此花図書館長	片山 理子
島之内図書館長	松山 智子
港図書館長	松本 実
大正図書館長	浅川 裕俊
天王寺図書館長	川嶋 恵子
浪速図書館長	外丸 須美乃
西淀川図書館長	平田 満子
淀川図書館長	川村 望
東淀川図書館長	田野 晶子
東成図書館長	森家 さち子
生野図書館長	竹内 景子
旭図書館長	井上 由美子
城東図書館長	荒木 麻里
鶴見図書館長	上田 優里
阿倍野図書館長	縣 和世

所 属	氏 名
住之江図書館長	波多野 圭子
住吉図書館長	野村 薫
東住吉図書館長	中田 夕子
平野図書館長	角田 人志
西成図書館長	岩佐 孝司

教育委員会事務局指導部

所 属	氏 名
初等・中学校教育担当課長	弘元 介
初等・中学校教育担当首席指導主事	福山 英利

教育委員会事務局生涯学習部

所 属	氏 名
生涯学習担当課長	大多 一史
生涯学習部担当課長代理	笹田 愛子
生涯学習部担当係長	加藤 由紀子